

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月24日

学校名 福井市六条小学校

校長氏名 川崎 隆夫

1 今年度の目標（学校の約束）

- ①六条の環境、地球環境について学習します。
- ②水や電気などの資源を大切に使います。
- ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

① 環境学習

- ・地球環境問題について考える学習会を、家庭・地域の方々と連携して高学年で実施します。
- ・4・5年社会と6年理科で環境保全について考える学習をします。

② 節電・節水の取組

- ・環境委員会で作った節電・節水を呼びかける掲示物を校内に掲示し、全校に節電・節水を呼びかけます。また、定期的に環境委員会が校内を巡視し、点検します。

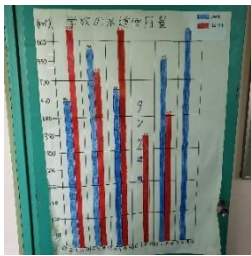
③ 分別回収やリサイクル運動

- ・食品トレイ、アルミ缶、古紙の回収をPTAや地域の方々と連携して実施します。
- ・給食の時に、ごみの分別回収をするとともに、残食を減らしごみ減量に努めます。
- ・給食委員会で、新聞の折り込みチラシを利用して紙箱を作り、給食の時の燃やせるごみ入れとして使います。
- ・地域と連携しながら、アルミ缶やトレイ、使用済みインクカートリッジの回収活動に取り組みます。
- ・各教室にリサイクルボックス（余ったプリントや使用済みの紙を入れておくもの）を設置します。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。）

- ・③の分別回収やリサイクル運動では、家庭や地域とも連携しながら、限られた資源の大切さを知り、不用になったものを再利用し、有効に使う力を育てます。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 六条小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ①六条の環境、地球環境について学習します。 ②水や電気などの資源を大切に使います。 ③ごみを減らし、リサイクルに努めます。	
2 取組内容 ① 環境学習 ・地球環境問題について考える学習の機会を理科や社会科の授業中にもうけました。環境問題を考えることの大切さと身近なところから環境に優しい生活をすることの重要性を見童と確認することができました。授業参観の時に授業を行い、理科や社会科の学習の中で環境問題を取り上げました。   ② 節電・節水の取組 ・手洗い場や電気スイッチ場所にはる、節水や節電の掲示物を作りました。電気使用量・水道使用量を表すグラフは前年度の使用量と比較のできるもので、節水・節電の呼びかけに活用しました。  水道使用量 グラフ  節水を呼びかける 放送（環境委員会） ③ 分別回収やリサイクル運動 ・地域の方々と連携しながら、毎月アルミ缶の回収を行いました。 ・給食の時に、パンの袋や牛乳用ストローのごみを集め、給食プラごみとして分別回収をしました。 ・環境委員会で、新聞の折り込みチラシを利用して紙箱を作り、給食の時の燃やせるごみ入れとして使いました。 ・各教室にリサイクルボックス（古紙を入れておくもの）を設置し、環境委員会が回収しました。回収した古紙は、PTA資源回収に出しました。	

★ ESDポイント

③の分別回収やリサイクル運動では、家庭や地域とも連携しながら、限られた資源の大切さを知り、不要になったものを再利用し、有効に使う力を育てることができた。

3
見直し

【具体的効果】

- ① 教科の授業を活用して児童が環境保全を学ぶ時間に、ごみの分別や環境問題を学習することで、リサイクルの必要性や自然環境を守る意識が育ってきている。
- ② 電気や水道の使用量の変化をグラフで掲示したり、水道の蛇口からもれる水滴をなくそうと呼びかけたので、節電節水を分かりやすく呼びかけをすることができて、省エネの意識が育ってきている。
- ③ 地域と連携した資源回収活動などのリサイクル活動が、児童だけでなく、家庭や地域に定着してきている。

【改善点】

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、資源回収やアルミ缶回収の活動に児童が一部分しか参加できなかった。今後、状況が好転すれば、親子で協働作業できる活動にして、リサイクルの意識をさらに高めたい。